

## 「学びに向かう学校」づくり中核校生徒連絡協議会記録

平成29年8月2日（水） 13:30～  
別府市ビーコンプラザ レセプションホール

### 1. 開会行事〔13:30～13:45〕

◎県教委挨拶【岩武 茂代 教育次長】

「学びに向かう力」とは、自分ではすぐ解決できないような課題にぶつかった時に自分で考え、解決できる力だと考えている。

では、なぜそんな力が今大切なのか。スマートフォン、コンピュータ、AIのように、世の中の進歩は速い。自分が望んでいなくても様々な課題にぶつかっていく世の中。そんな中で、知恵と力を発揮して乗り越えていってほしい。その時に必要になるのが、自分でどうやって課題を乗り越えていけばいいのかを色々な所から学んだり知恵を働かせたりしながら考え発揮する「学びに向かう力」。そんな力を養わなければいけない。

大切にしてほしい力は3つ

①思考力・表現力・判断力

②学びに向かう力

③人間性（心の力、思いやる心）

中心は授業。授業の中で身に付けていってほしい。班学習や互いの意見を発表する活動は多い。

その時に

「何を言っても聞いてくれる、受け止めてくれる」という人間関係づくりが大切。

今日、集まったみなさんは「学び向かう学校」のリーダー。リーダーになる人がいると素晴らしい学校づくりができる。みなさんに期待している。



### 2. 中核校等の発表〔13:55～14:53〕（ポスターセッション形式：各校発表10分×2回）

#### 中津市立城北中学校



USJプロジェクト(ウルトラスマイル城北)

※プロジェクトで学級力をあげよう

①学級力アンケートの実施と分析(年3回)

(レーダーチャートで見える化)

②課題解決のプロジェクト立ち上げ

③プロジェクトのふり返り

④新たな目標の設定

リーダーを育成することで活発な生徒会活動へ

#### 別府市立朝日中学校



共に学び合い、高め合うための取組み。

(育てよう朝中の木)

①朝中の木に栄養を与えているで賞

②2分前着席、1分間黙想

③月はじめボランティア

④ちょボラ（ちょこっとボランティア）

⑤ヒルキュー

⑥NDD（ノーデジタルデイ）

## 日出町立日出中学校



学びに向かう学校づくり  
～生活～

- ①いじめ撲滅アクション
- ②THANKS プロジェクト
- ③自力通学強化運動

～学習～

- ①2分前着席1分間黙想
- ②学習目標の設定
- ③テスト対策プリントの作成
- ④授業評価アンケートの実施

## 由布市立湯布院中学校



プロジェクトチームから学校全体へ向かう「学び」へ  
生徒会の取組

- ①あいさつ運動の強化
- ②全校レクリエーション大会
- ③2分前着席、黙想
- ④ノーチャイムの取組
- ⑤学習環境改善月間
- ⑥学びに向けたアンケート実施
- ⑦After school study time

※脱「受け身」へ

## 豊後大野市立三重中学校



「三重中スタイル定着・強化・完成週間」の取組

- ①生徒会シンボルマーク作成  
(生徒会掲示物である印の「見える化」)
- ②お手本清掃
- ③授業五則クラスマッチ
- ④遅刻ゼロクラスマッチ
- ⑤読書量クラスマッチ

※全校生徒が当事者意識を持つための取組を行う。

## 日田市立三隈中学校



全校生徒が学びへの意識を高めるための取組

- ①授業評価
- ②意思表示カード
- ③学リンピック
- ④家庭学習計画表
- ⑤「一止(視)一礼+1」のあいさつ
- ⑥「ふり返りの場」の設定
- ⑦小中交流あいさつ運動
- ⑧班を基本単位とした活動
- ⑨ボランティア活動

## 豊後高田市立高田中学校



学びに向かう学校づくりの取組

～学習部の取組～

- ①「勉強クラスマッチ」
  - ②自分たちで考える「学習目標」
  - ③「学習の基本4か条」の確立を目指した学習環境作り
- ～学級委員会の取組～

- ①人権目標を中心にした、月ごとの振り返り
- ②人権集会での全校グループワーク

## 杵築市立宗近中学校



「競争と共創」

- ①「授業共創宣言」の作成
- ②ノーチャイム着席
- ③学習ステーション
- ④置き勉強チェック
- ⑤ワンストップあいさつ
- ⑥ポップコンテスト

※それぞれの取組の状況を数値化して分析し、次への活動につなげる。

## 国東市立国東中学校



～学びに向かう～ スローガン：<sup>かつばえびせん</sup>勝発笑美践

- ①「国中マナーモード 三カ条」
  - ②「勉強ステーション」の取組
  - ③縦割りのチームでのレクリエーションの実施
  - ④リーダー意識を高める代表委員会の実施
- ※GKO spirit で更なる全校の絆と学力の向上

## 佐伯市立佐伯城南中学校



学校生活が楽しいと感じる生徒100%を目指そう

～学びに向かう「心」と「場」を整える～

- ①「自問清掃」の取組  
我慢、周りに感謝、気づきの3つの心を育てる
- ②先生と生徒で共有する「学級づくり」

～学びに向かう「生徒の自主的活動」をつくる～

- ①生徒会活動と学校・教科のコラボ活動
- ②「リフレッシュタイム」
- ③「チャイム黙想」
- ④地域に広げるボランティア活動



### 玖珠町立森中学校



「森中の学び」の確立

- ①森中っ子 五箇条
  - ②授業内容の定着
  - ③小グループ活動
  - ④ノーメディア学習の推進
  - ⑤「MORI サイクル」の活用  
(計画→実行→反省→改善)
- ※リーダーの育成

### 大分大学教育学部附属中学校



六期ステッププロジェクト

I期：生活 II期：学習・整美 III期：奉仕

- ①学習改善プロジェクト  
Put Your Hands Up! 活発でわかりやすい挙手のある学習)
  - ②学習目標の設定
  - ③C&Cプロジェクト
- ※全体の達成率の向上を目標に取り組む

### 3. 参加生徒による協議 [15:10~15:40]



#### 4. 閉会行事〔15:40～16:00〕

##### ◎講評【米持 武彦 義務教育課長】

「こうなりたい、こうしたい」と強く願うことによって、すごい結果が生まれてくる。「こうなりたいと思う自分の姿」をしっかり持って欲しい。思い続けると思った以上の結果がうまれる。思わないと、それなりの結果しかうまれない。大事なことは、「こうしたい」と自分たちの思いや願いをしっかり持つこと。

みなさんが紹介したいと数の多かった取組

- ①リフレッシュタイム
- ②意思表示カード
- ③ノーチャイム

学びを深めるみなさんの工夫した10個の取組項目

- ①取組を重点化構造化している
- ②学習目標・授業目標を決める
- ③魅力的なキャッチコピー
- ④目標達成の評価をする
- ⑤PDCAサイクルに取り組む
- ⑥郷土の先人の言葉を活用する
- ⑦プレゼンの工夫、完成度の高さ
- ⑧学級・学校を超えた対話の増加
- ⑨組織を見直して活動を整理する
- ⑩地域社会と関わる経験をしている



最後に、大分県を担っていくみなさん方へ

学びに向かう連絡協議会ではあったが、大分県を担っていく皆さん方にとってとてもよい交流ができたと思う。これを機会に、校内で同じような活動をして欲しいし、地域でも、他校と今日と同じような会合を、持ちながら情報交換をして欲しい。その結果、地域全体や学校が明るく元気に深く学べる学校になっていくと感じている。